

広島大学学術情報リポジトリ

Hiroshima University Institutional Repository

Title	日南市収蔵榎原神社元宮司平部家旧蔵和古書分類目録
Author(s)	妹尾, 好信
Citation	内海文化研究紀要 , 48 : 21 - 49
Issue Date	2020-03-31
DOI	
Self DOI	10.15027/50135
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00050135
Right	Copyright (c) 2020 by Author
Relation	



日南市収蔵榎原神社元宮司平部家旧蔵和古書分類目録

妹尾好信

宮崎県日南市南郷町にある榎^{よわら}原神社は、万治元年（1658）に飢肥藩主伊東祐久によって鶴戸神宮を分祀して創建され、歴代の藩主から崇敬を受けるとともに、「榎原大権現」と呼ばれて地元の人々の厚い信仰を集めてきた。宝永4年（1707）建立の本殿、文化13年（1816）建立の楼門、天保13年（1842）建立の鐘楼（別当寺であった貴雲山地福寺の遺構）は宮崎県指定文化財であり、日南市南部の観光名所になっている。

この度、榎原神社の宮司職にあった平部家の蔵書が日南市に寄贈され、飢肥城趾内にある松尾の丸収蔵庫に保管されることになった。筆者は飢肥城歴史資料館等の学芸員を勤める長友禎治氏から依頼を受け、寄贈された平部家旧蔵書のうち、江戸後期から明治期に書写・刊行された和古書類の書誌的調査を行い、分類目録を作成した。

受贈・移管にあたっては、一括して受け入れたため、書名リストもない状況であった。また、蔵からの搬出、埃落とし、虫干しなどの過程で相当な乱れが生じており、乱れた巻序を整え、1点ごとに揃えるところから作業を始めた。残念なことに、概して保存状態は良好と言えず、虫食いや痛みがかなり進んでいて、表紙の汚損で書名がわからないものや、綴じ糸が切れて丁がばらばらになってしまったものも少なくなかった。今回の調査で、出来る限りの復元を行い、本来の状態に近づける努力をしたが、なお書名不明のものや、同一書なのか別物なのか判断がつかかねるものも一部残った。

したがって、目録に1点として掲載したものの本来別に掲げるべきものであったり、別に掲げたいけれども1点にまとめるべきであったものもあるかもしれないことをお断りしておく。また、そういう状況であるから、丁の抜け落ちや欠損などについてはいちいち確認できていない場合がある。虫損や痛みが激しく、もはや書物としての利用に堪えないものも存在する。そのような書物を目録に載せるのは不適當であるとも言えようが、地方の文化を担った著名な神社の宮司家がどのような蔵書を形成していたかを知ることは、文化史研究の資料として意義のないことではないと思われるので、あえて掲載した次第である。

神官の蔵書であるから圧倒的に神社・神道関係の書物が多い。とりわけ地元の飢肥・日向南部における神社関係の資料は貴重と思われるので、目録では「郷土資料」として末尾に一括して載せた。歴史書も少なくない。文学書はさほど多くないが、和歌関係がやや目立っている。これは、榎原神社を舞台として和歌の愛好会が活動していたらしいことと関係があろう。平部家からは蔵書とは別に数百枚の和歌短冊が寄贈されている。それらについては今後調査をして、報告の機会を持ちたいと思う。

蔵書印や書き入れから特定できる持ち主として、平部俊英（天保9～明治36。明治26年から宮司）とその嗣子正人（明治7～昭和4。明治35年から宮司）の名が挙げられる。俊秀は博学識明の人物として知られ、和歌もよくしたと言う（木之戸勝隆の墓誌銘による）。父の跡を継いだ正人もまた磊落にして思慮深い人物で郷土の青少年への教化事業に力を尽くしたと言う（桑原芳樹の墓銘碑による）。俊英の父俊永による書写本も存する（005）。

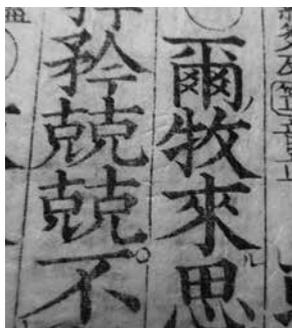
【平部家旧蔵書から発見された角筆の書き入れと角筆とおぼしき道具について】

今回の調査で得られた特筆すべき事項として、角筆による書き入れのある文献と、角筆の遺物とおぼしき竹製の棒が発見されたことがあるので、以下に報告する。

古代から近代の黎明期に至る長い間にわたって、角筆と呼ばれる道具が使用されていたことは、夙に小林芳規^{よしのり}広島大学名誉教授（令和元年文化功労者）の研究で明らかにされてきた。角筆とは象牙や木・竹などの細い棒の先端部分を尖らせて、紙面を凹ませて文字や記号を書く、補助的な筆記具であり、主に漢文の文献を読むに当たって、漢字の読みや送り仮名などを記すために用いられた。角筆による書き入れがある書物や文書を「角筆文献」と称する。

今回見つかった角筆文献は、本目録158番に掲載の『^警詩経』である。下冊15丁裏の「兢兢」の字の右傍らに「キヨ」と読める凹みがある。「兢」を「キヨ」と読むことを示すために角筆で書き入れたものと見られる。そして、まさにその丁のノドの部分に角筆とおぼしき竹製の棒が挟まっていたのである。棒の長さは約8.8cm、太さは最も太い部分で3mmほどである。両端が細く削られているが、特に片方が尖っており、その部分を使って文字が書き込まれたと思われる。2017年12月26日、小林名誉教授のもとに持参して鑑定していただいたところ、角筆として使われたものに間違いなからうとのことであった。現存する角筆の遺物としてはおそらく最も小さいものであろうという。

宮崎県では、すでに都城市立図書館所蔵の上原文庫の資料の中から1本の角筆が発見されている（小林名誉教授著『角筆文献教論』下巻〈平成16年 汲古書院〉1486頁以下参照）。幕末から明治にかけて日向南部において角筆が使用されていたことを実証する資料として極めて意義深い発見である。



角筆の書き入れがある『詩経』



角筆と見られる竹製の棒



角筆を鑑定する小林名誉教授

〔凡 例〕

1. 本目録は、宮崎県日南市に寄贈された榎原神社元宮司平部家旧蔵の和古書類の分類目録である。
2. 当該図書群には江戸後期から明治初期頃までに書写・刊行された写本・版本の他、明治期の和装活字本や教科書類、まれに大正・昭和初期頃に出版された活字本や複製本も含まれている。
3. 各部の分類と配列は、基本的に『内閣文庫国書分類目録』により、分類名は『国書総目録』の分類名と分類項目名を参考にした。ただし、和刻本漢籍については、「和刻本漢籍・準漢籍」として「準漢籍」と同一項目とした。また、郷土資料については末尾に一括した。
4. 以下、基本的に次の順序で書誌的事項を記した。
 - ①**通し番号** 本目録の対象とした190点の書目に対して、配列順に001～190の通し番号を付した。
 - ②**書名** 書名は、外題によることを原則とした。題簽の欠落や汚損などのため外題が判読できない場合は、適宜内題や柱刻などにより、その旨を備考に記した。書名はゴシック活字で示した。表記は当該本の表記を尊重したが、原則として漢字は現行の字体に直した。振り仮名は（ ）で付記した。
 - ③**角書** 書名に角書がある場合は、書名の後に〔 〕に入れてやや小字で示した。
 - ④**編著者** 著作者・編纂者・原著者・訳者・校訂者などの名を示した。不明の場合は記さない。
 - ⑤**書型** 本の大きさ(型)を「大」(大本)・「半」(半紙本)・「中」(中本)・「小」(小本)・「横」(横本)の別でおおまかに示した。
 - ⑥**刊・写の別** 刊本(版本)の場合は「刊本」、写本の場合は「写本」と記した。
 - ⑦**装丁** 本の装丁について簡略に示した。通常の線装本は「袋綴」とし、「大和綴」「卷子」などの別を示した。厚みのある表紙のつかない本は「仮綴」とした。
 - ⑧**冊数** 当該本の冊数を示した。欠巻があったり合綴されたりしている場合も現状の冊数を記し、欠巻や合綴の状況は備考に示した。
 - ⑨**刊行・書写年** 刊本については刊年を、写本については書写年を示した。不確定な場合は「？」を付した。不明の場合は不記載とした。
 - ⑩**版元・書写者** 刊本については版元(書肆名)を、写本については書写者名を示した。取扱書肆を多数列記する場合は代表的な書肆名を掲げ、「他○書肆」のように記した。書肆の所在地がわかる場合はそれを冠し、「板」「梓」など版元を示す記載はそれを添えて記した。
 - ⑪**保存状態** 良好なものは「良」、普通の場合は「並」とし、保存状態に問題がある場合は、「虫損」「少虫」「破」「汚」「疲」「浸」「痛」のように示した。特に激しい場合は備考にその旨を記した。
 - ⑫**旧蔵印** 表紙や巻首などに捺された蔵書印などを「○○」印の形で示した(□は未判読文字)。
 - ⑬**備考** *印を付して、その他注意すべき事柄を適宜記した。残存状況、序跋者、書入の有無、初版刊行年などの情報である。引用中の／印は原文改行を示す。
 - ⑭**仮整理番号** 調査にあたって、整理の便宜のために仮に付した整理番号を項目の末尾に〔 〕に入れて示した。当面はこの番号が出納の際の基準になる。

(1) 総記

A 書誌

- 001 **群書一覽** 尾崎雅嘉編 中 刊本 袋綴 6冊 享和2年(1802)刻成 浪華／加賀屋善藏・河内屋源七郎(印)・伊丹屋善兵衛・藤屋九兵衛 虫損 「平部図書之印」印(巻首) *6巻6冊揃。奥田元継序(年時は虫損のため不明)。享和元年(1801)尾崎雅嘉例言。〔001〕

(2) 神祇

A 神道

- 002 **大祓詞後釈** 本居宣長著釈 大 刊本 袋綴 2冊 江戸／須原屋茂兵衛、大坂／伊丹屋善兵衛他全10書肆 虫損 *上巻、下巻・附録の2冊揃。寛政7年(1795)神祇伯資延王序。題簽剥落により外題欠。書名は巻首題・柱題による。虫損激し。〔016〕
- 003 **大祓詞後釈** 本居宣長著釈 大 刊本 袋綴 2冊 江戸／須原屋茂兵衛、大坂／伊丹屋善兵衛他全10書肆 虫損 「平部図書之印」印(巻首) *上巻、下巻・附録の2冊揃。寛政7年(1795年)神祇伯資延王序。題簽剥落により外題欠。書名は巻首題・柱題による。〔017〕
- 004 **大祓太祝詞考** 平田篤胤撰述、鈴木重野・柴田義信・内山景寿校 大 刊本 袋綴 1冊 虫損 *文政5年(1822)平田篤真(鋏胤)序。文化12年(1815)平田篤胤識語。巻尾に平田鋏胤の追書あり。巻末に「伊吹酒屋先生及門人著述刻成之書目 塾蔵版」を載せる。題簽剥落により外題欠。書名は柱題による。虫損激し。巻首題「大祓太詔刀考」。〔189〕
- 005 **神国啓蒙** 山口官平著 大 写本 袋綴 1冊 文政10年(1827)写 平部俊永写 虫損 *明和元年(1764)山口官平自序。巻尾に「讚州丸亀産／取鳥玉藻述」「享和三(1803)癸亥仲春／行孝謹書」「文政十(1827)丁亥正月十二日／平部俊永謹写之書」と奥書あり。題簽剥落により外題欠。書名は序題による。〔022〕
- 006 **玉鉾物語** 矢野玄道述 大 刊本 袋綴 1冊 虫損 「平部図書之印」印(巻首) *巻尾に「文久三年(1863)春三月 弟 平直道敬校」とあり。刊記なし。題簽剥落により外題欠。書名は巻首題による。〔066〕
- 007 **宮比神御伝記** 平田篤胤著、石川篤記打聞 大 刊本 袋綴 1冊 少虫 「平部図書之印」印(巻首)・未判読印(巻首) *文政12年(1829)平田鉄胤序。同年源あつのり(石川篤記)識語。巻末に「伊吹酒屋先生及門人著述刻成之書目 塾蔵版」1丁あり。刊記なし。〔065〕
- 008 **靈能真柱** 平田篤胤著 大 刊本 袋綴 2冊 虫損 *上・下2巻2冊揃。年時不記藤原貞直序、文化9年(1812)堤朝風序。年時不記大野広則跋。下巻末に「伊吹酒屋先生及門人著述刻成之書目 塾蔵版」1丁あり。刊記なし。〔004〕
- 009 **靈能真柱** 平田篤胤著 大 刊本 袋綴 1冊 虫損 「平部図書之印」印(巻首)・未判読印(巻首) *2巻2冊のうち下巻1冊のみ存。年時不記大野広則跋。巻末に「伊吹酒屋先生及門人著述刻成之書目 塾蔵版」一丁あり。刊記なし。虫損激し。柱題「霊のみはしら」。〔064〕

- 010 **童蒙入学門** 平田篤胤著 大 刊本 袋綴 1冊 虫損 「平部図書之印」印(巻首) *巻首に年時不記門人等による序あり。末尾に「伊吹廼屋先生及門人著述刻成之書目 塾蔵版」1丁あり。刊記なし。外題欠、書名は巻首題による。〔100〕
- 011 **神官聯合会規約書** 半 冊子 刊本 1冊 並 *洋紙活字本。冒頭に神官聯合会緒言あり。「神官聯合会規約」に「神官聯合会履修分疏」を付載。洋紙。〔145〕
- 012 **愛知大道新誌 第十八号** 中 冊子 刊本 1冊 明治24年(1891)7月発行 愛知／大道新誌社 並 *洋紙活字本。「愛知縣神官取締所生徒寮」発售の神官向け月刊誌。洋紙。〔144〕
- 013 **【逸名断簡】** 大 写本 袋綴・仮綴 1冊・1枚 虫損・破・シミ *断簡のため書名不明。書名は仮につけたもの。188・189と同様銀鏡神楽の伝書の一部か。〔160〕
- 014 **【逸名和歌集】** 大 写本 袋綴・仮綴 1冊 虫損 *「一番舞鬼神」「第二番神璽舞」「第三番宝鈿舞」「第四番目前舞」「第五番魅魍舞」から「三十番手力雄」まで短歌形式の詞章を並べる。破損により表紙欠。書名不明。書名は仮につけたもの。〔188〕

B 祭祀

- 015 **祭典略 附祭文例** 藤原宣隆著、賀茂経春閱 大 刊本 袋綴 1冊 明治17年(1884)出版 大阪／石井昇平 虫損 「平部図書之印」印(巻首) *見返題に「平田塾蔵版」とあり。表紙題籤剥落。虫損激しく展開不能。「[官許] 祭典略 附祭文例」(見返題)、「祭文例」(柱題)。〔008〕
- 016 **禳疫大祓祭奠式** 六人部宿禰是香編 大 写本 袋綴・仮綴 1冊 虫損 *前後表紙欠。書名は巻首題による。虫損・傷み激し。〔190〕
- 017 **神事須知** 古川某 大 刊本 袋綴 1冊 大阪府／赤石(赤志)忠七・鹿田清七 虫損 「平部図書之印」印(巻首) *刊記に「古川家蔵版」とあり。外題欠。書名は巻首題による。虫損激し。〔019〕
- 018 **神社祭式** 式部寮編纂 大 刊本 袋綴 1冊 明治8年(1875)新鐫 東京／山口屋佐七良 「平部図書之印」印(巻首) *明治8年(1875)坊城俊政・五辻安仲・橋本実梁表。淡彩色図あり。〔009〕
- 019 **宅神祭儀** 岩崎長世著述、平瀬春枝・白山宜福校 大 刊本 袋綴 1冊 明治8年(1875)発兌 大阪／宋栄堂田中太右衛門 虫損 「平部図書之印」印(巻首) *年次不記平瀬春枝序。〔182〕
- 020 **葬事略記** 角田忠行記 大 刊本 袋綴 1冊 虫損 「平部図書之印」印(巻首) *刊記なし。表紙欠。書名は巻首題による。虫損激し。前遊紙裏に「平部氏」と墨書。〔007〕
- 021 **上等葬祭図式** 常世長胤撰 大 刊本 袋綴 1冊 虫損 「平部氏」印(前遊紙) *明治7年(1874)三条西季知序。後見返に「平部氏」とあり。刊記なし。虫損激し。〔006〕
- 022 **はふりのゝりかみつまき** 稲葉正邦著、権田直助識 半 刊本 袋綴 1冊 明治20年(1887)刊か 神道本局刊か 良 「平部図書之印」印(巻首) *上1冊のみ存。「葬儀式」(巻首題振漢字・下小口題)。〔018〕
- 023 **祝詞考** 賀茂真淵著 大 刊本 袋綴 3冊 寛政12年(1800)刻成 浪華／河内屋喜兵衛・同惣兵衛・同太助・同吉兵衛 虫損 *上・中・下3巻3冊揃。明和5年(1768)賀茂真淵自序。

同年荒木田久老識語。寛政12年(1800)荒木田久老跋。見返題に「浪華書林 河内屋発行」とあり。後見返に「発行書林」として江戸/須原屋茂兵衛から大坂/河内屋太助までの10書肆名列記。巻尾に「五十槻園蔵版」とあり。題簽剥落により外題欠。書名は巻首題・柱題による。巻首題「祝詞考(ノリトゴトノカンガへ)」。[012]

024 **祝詞考** 賀茂真淵著 大 刊本 袋綴 3冊 寛政12年(1800)刻成 浪華/河内屋喜兵衛・同惣兵衛・同太助・同吉兵衛 虫損 「平部図書之印」印(巻首) *上・中・下3巻3冊揃。明和5年(1768)賀茂真淵自序。同年荒木田久老識語。寛政12年(1800)荒木田久老跋。巻尾に「五十槻園蔵版」とあり。書名は巻首題・柱題による。巻首題「祝詞考(ノリトゴトノカンガへ)」。[013]

025 **祝詞正訓** 平田篤胤著、平田鏡胤校・書 大 刊本 袋綴 1冊 虫損・疲・破・シミ 「平部図書之印」印(巻首) *上・下巻合1冊。安政5年(1858)高玉安兄跋。巻尾に「伊吹酒屋先生及門人著述刻成之書目 塾蔵版」1丁あり。前見返に「祈年齋」「大殿齋」等祭事名の墨書書入あり。刊記なし。前後表紙欠。[011]

026 **祝詞略解** 久保季茲編輯、吉岡徳明校訂 半 刊本 袋綴 6冊 明治16年(1883)刊 東京/平田胤雄 少虫 「平部図書之印」印(巻首) *和装活字本。6巻6冊揃。明治14年(1881)平田胤雄序。同年久保季茲凡例。[014]

027 **祝詞うひまなび** 坂正臣纂輯 半 刊本 袋綴 1冊 明治18年(1885) 東京/平田胤雄 虫損 「平部図書之印」印(巻首) *和装活字本。下巻1冊のみ存。題簽剥落により外題欠。書名は巻首題による。目録題「祝詞字比麻那毘」、柱題「祝詞初学」。[010]

028 **神生紀魂鎮 十番** 大 写本 袋綴・仮綴 1冊 虫損 *巻尾に「春日大明神祠官」と朱書。虫損激し。日本各国の神名帳、国常立尊から(伊東)祐實公尊灵までの神名系譜、神名を唱える祝詞。巻首題「神生紀魂鎮(ジンショウキタマシズメ[朱・ルビ])第十番[朱]」。[178]

029 **諄辞集** 本居豊穎撰、梁川保嘉・朝賀喜一纂輯 半 刊本 大和綴 2冊 明治28年(1895)発行 東京/會通社 良 「平部図書之印」印(巻首) *洋紙活字本。上・下2巻2冊揃。明治28年(1895)久保惠鄰序、同年編者凡例。背小口に「平部氏」と墨書。祭詞集。洋紙。[015]

030 **【祭礼次第】** 大 写本 袋綴・仮綴 1冊 虫損 *表紙なし。前後共に欠失あり。書名不明。書名は仮につけたもの。[181]

C 国 学

031 **神代正語常磐草** 細田富延著 大 刊本 袋綴 3冊 天保2年(1831)刊 東都/須原屋茂兵衛、大坂/柏原屋源兵衛・河南儀兵衛、京都/永田調兵衛・吉田四朗右衛門 虫損 「平部図書之印」印(巻首) *上・中・下3巻3冊揃。文化12年(1815)伯耆の国兼延序、文政10年(1827)中臣光久序。同年細田富草跋。下巻後見返に「仕入・売捌処/津逮堂 大谷仁兵衛」とあり。見返題に「皇都書林 大谷津逮堂蔵」とあり。絵入り。見返題「[神代正語]常磐草」。[005]

032 **古史成文** [校訂再版] 平田篤胤著述 半 刊本 袋綴 1冊 明治12年(1879)再板考訂 平田胤雄再板 並 「平部図書之印」印(巻首) *3巻合1冊。文政6年(1823)藤原貞直序。巻尾に「伊吹乃屋年来蔵版畧書目」一覧あり。背小口に「平部氏」と墨書。薄様。「古史」(序題)。[124]

033 **悟道弁** 平田篤胤 半 刊本 袋綴 2冊 虫損 「平部図書之印」印(巻首) *2巻2冊揃。

1冊目「悟道弁講本」(柱題「悟道弁」、2冊目「尻口物語」(柱題「悟道弁附」)から成る。年時不記
小島元吉・千本松吉周等序。巻尾に「平田篤胤記」とある識語あり。末尾に「伊吹廼屋先生及門人
著述刻成之書目 塾蔵版」1丁あり。刊記なし。外題欠、書名は柱題による。〔099〕

034 **心の柱** 権田直助著 大 刊本 袋綴 1冊 東京/吉岡十次郎 虫損 平部図書之印」印(巻
首) *年時不記岡部讓跋。巻尾に「神習舎蔵版書目」1丁あり。〔087〕

035 **三則愚言 附/十一題略説** 大久保祥誉著 半 刊本 袋綴 1冊 明治6年(1873) 刻成 京
都/文明書楼(見返題) 虫損 *刊記に「発行書林」として東京/村上勘兵衛他10書肆名を列記。
外題欠。書名は見返題による。巻首題「三則愚言」。〔092〕

(3) 仏教

A 寺院

036 **御山のしをり** 半 写本 袋綴 1冊 近江国/坂本松嶋昌寿堂 少虫 *天保4年(1833)
飯室の桑門寒巖序。前後表紙のみ虫損多し。「比叡山坂本山王社小案内記」とツレとされるが1冊
のみ存。巻首題「比叡山延暦寺小案内記(ひゑいさんえんりやくしこあんないき)」。〔023〕

(4) キリスト教

037 **洋教弁略** 久保季茲講説 半 刊本 袋綴 1冊 明治18年(1885) 出版御届 平田胤雄出版
虫損・破 *和装活字本。外題欠、書名は巻首題による。〔096〕

038 **洋教弁略** 久保季茲講説 半 刊本 袋綴 1冊 明治18年(1885) 出版御届 平田胤雄出版
虫損 「平部図書之印」印(巻首) *和装活字本。外題欠、書名は巻首題による。〔097〕

(5) 言語

A 語学

039 **古言梯** 楫取魚彦著 大 写本 袋綴 1冊 江戸/須原屋市兵衛、大坂/柏原屋清右衛門
虫損 *明和2年(1765) 藤原の宇万伎序。明和元年(1764) 楫取魚彦巻末識語。巻尾に出版目録
1丁あり。欄外に「文久二年(1862) 壬戌秋八月云々」と墨書あり。題簽剥落により外題欠。書名
は巻首題・柱題による。虫損により傷み極めて激し。〔025〕

040 **古言梯** 楫取魚彦著 大 写本 袋綴 1冊 大坂/泉屋卯兵衛 虫損 「平部図書之印」印
(巻首) *明和2年(1765) 藤原の宇万伎序。明和元年(1764) 楫取魚彦巻末識語。年時不記賀
茂真淵跋。題簽剥落により外題欠。書名は巻首題・柱題による。虫損により傷み極めて激し。〔026〕

B 文法

041 **広日本文典** 大槻文彦編 半 刊本 1冊 明治31年(1898) 第六版 大槻文彦発行 並 「平
部文庫」印(巻首) *和装洋紙活字本。巻末に大槻文彦の識語あり。巻尾に「大槻文彦先生著書目
録」1面あり。背小口に「平部蔵」と墨書。明治30年(1897) 初版発行。関東売捌所・吉川半七、

関西売捌所・三木佐助。笠原義夫校。洋紙。[105]

- 042 **広日本文典別記** 大槻文彦著 半 刊本 1冊 明治30年(1897)発行 大槻文彦発行 良
「平部文庫」印(巻首) *和装洋紙活字本。明治29年(1896)大槻文彦自跋。巻尾に「大槻文彦
先生著書目録」1面あり。背小口に「平部蔵」と墨書。関東売捌所・吉川半七、関西売捌所・三木
佐助。笠原義夫校。洋紙。[106]

C 辞書

- 043 **和名類聚抄** 大 写本 袋綴 5冊 大坂/渋川清右衛門 虫損 「平部図書之印」印(前見返)
*20巻5冊揃。虫損により傷み極めて激し。[024]
- 044 **明治玉篇大全** 竹添源太郎編輯 横 写本 袋綴 1冊 明治21年(1888)出版 大阪/岡本
仙助・武田福蔵・横山泰次郎 並 *明治21年(1888)編者凡例。巻尾に大阪・東京・西京その他
各地の書肆名を列記し、末尾に「大阪書肆 岡島真七・中川勘助・此村庄助」と記す。外題欠。書
名は巻首題等による。[027]

(6) 文学

A 総記

- 045 **日本文学史** 大 写本 袋綴 1冊 並 「平部図書之印」印(巻首) *下巻1冊のみ存。明
治23年(1890)三上参次・高津楯三郎緒言。同年落合直文跋。赤インク・鉛筆による書入多し。外
題欠。書名は扉題による。巻首題・巻尾題「日本文学史下巻」。[028]

B 物語

- 046 **伊勢物語** 大 刊本 袋綴 2冊 東都/須原屋茂兵衛梓 虫損 「平部図書之印」印(巻首)
*上・下2冊揃。見返題に「東都 千鍾房梓」とあり。上段に絵、下段に傍注付本文を配す。外題
は題簽の剥がれた跡に直書。虫損激しく一部展開困難。見返題「[傍注絵入]伊勢物語」。[040]
- 047 **源氏物語講義** 鈴木弘恭講義、黒川真頼校閲、小串隆筆記 半 刊本 袋綴 10冊 明治17年
(1884)版權免許 東京/柳河梅次郎 少虫 「平部図書之印」印(首巻巻首・簞木以下巻首) *首巻、
桐壺、簞木、空蟬、夕顔、若紫、末摘花、紅葉賀、花宴、葵の10冊存。首巻に見返題、葵巻尾に刊
記あり。見返題に「東京 柳川氏蔵板」とあり。首巻は、明治17年(1884)黒川真頼序、同年鈴木
弘恭序、「心得」、「経緯(たてよこ)」、「段落」から成る。首巻を含めて全冊に頭注欄あり。[041]
- 048 **源平盛衰記** 大 刊本 袋綴 1冊 虫損 *全48巻のうち巻五・六の1冊(巻五は第11丁まで
欠)のみ存。外題欠。書名は巻首題・巻尾題・目録題による。柱題「盛衰記」。[042]

C 日記・注釈

- 049 **土佐日記俚言解** 再版 [添註] 佐々木弘綱注解、小中邨清矩校閲 大 刊本 袋綴 2冊
明治22年(1889)再版発行 東京/藤田栄次 虫損 「平部図書之印」印(巻首) *上・下2巻
2冊揃。見返題に「[原本]師範学校教科用」とあり。虫損激しく展開不能。[043]

D 文集

- 050 **水茎の岡の葛葉** 平部正人編輯 大 写本 袋綴・仮綴 1冊 平部正人写 少虫 *「武家史答案／幸輔論」、「武家史答案／源頼朝の政畧」、「徒然草の評」、「文明史」、「文明史」、「佛教傳來以後の影響」から成る。各編に「撰科生／平部正人」の署名あり。表紙に「千枝の屋主人／正人」と墨書。〔138〕
- 051 **Seven British Classics** 中 刊本 1冊 明治25年(1892)三版 東京／開新堂書店 虫損・破 「平部文庫」印(前遊紙) *和刻本洋書。日本語刊記あり。明治20年(1887)初版。アディソン・スコット・ラム・キャンベル・マコーリー・テニス・サッカーの作品を収録。洋紙。〔146〕

E 書簡集

- 052 **倫敦タイムス社寄書** 倫敦タイムス社東京支社編輯 半 刊本 袋綴 1冊 明治39年(1906)良 *和装活字本。右開き巻首に日本語の扉題、左開き巻首に英文の扉題あり。日本語扉題に「大英百科全書日本購読者より該書の価値と有益なることに付陳述せられし書簡」とあり。日本語書簡と英語書簡が混在。題簽剥落により外題欠。書名は日本語扉題による。薄様。扉題「Letters to the London Times.」。〔143〕

F 和歌

- 053 **万葉集古義** 藤原(鹿持)雅純撰 大 写本 袋綴・仮綴 1冊 虫損 *2巻上1冊のみ存。外題なし。書名は巻首題による。〔032〕
- 054 **万葉集略解** 橘(加藤)千蔭著 大 刊本 袋綴 30冊 寛政8年(1796)発行 江戸／耕書堂 蔦屋十三郎、名古屋／東壁堂永楽屋東四郎 虫損 「平部図書之印」印(前見返)・「朝田家蔵書」印(四下以降巻首)・「岸本家蔵書」印(四下以降巻首) *20巻30冊揃。寛政3年(1791)橘千蔭自序。刊記に「芳宜園蔵版」とあり。第1冊のみ欄外・行間に朱筆書入多し。一・二、三上・三下・四上、四下以降の3種取り合わせ本か。四下以降は岸本由豆流旧蔵書。〔033〕
- 055 **古今和歌集** 大 刊本 袋綴 2冊 虫損 「平部図書之印」印(下巻巻首) *上・下2巻2冊揃。上巻前見返に「明治二年(1869)巳霜月於難波／敷田先生方江入熟中求之／平部信」と墨書。欄外行間に墨書書入多し。仮名序には朱点あり。下巻後見返に「きのふけふ通ひし道もたとらるゝ老にける身はものわすれして」と朱書。刊記なし。外題欠。書名は巻首題による。〔030〕
- 056 **古今和歌集** 大 刊本 袋綴 1冊 名古屋／永楽屋東四郎、江戸／同出店 虫損 「平部図書之印」印(巻首) *上巻1冊のみ存。外題は題簽の剥がれた跡に「古今和歌集巻上」と直書。〔029〕
- 057 **頭書古今和歌集遠鏡** 本居宣長著述、山崎美成頭書 中 刊本 袋綴 7冊 江戸／文溪堂丁子屋平兵衛梓 並(第7冊のみ汚損) 「平部氏」印(巻首) *巻一～巻十八まで7冊。天保14年(1843)山崎美成序。外題欠。書名は巻首題・見返題による。序題「古今和歌集遠鏡頭書」、端書題「古今集遠鏡」。〔031〕
- 058 **類題和歌集** 半 刊本 袋綴 31冊 元禄16年(1703)梓行 京師／出雲寺和泉掾 少虫 「平

- 部図書之印」印（巻首） * 公事部 1 冊と春之一～六、夏之一～三、秋之一～六、冬之一～三、恋之一～五、雑之一～七の30巻30冊の計31冊。巻十八冬之三 1 冊のみ表紙の文様が異なる入れ本。〔034〕
- 059 **類題和歌補闕** 加藤古風編 半 刊本 袋綴 1 冊 少虫 「平部図書之印」印（巻首） * 6 巻 6 冊のうち巻第一春部 1 冊のみ存。文政13年（1830）成嶋司直序、同年松田久道序、文政 8 年（1825）加藤古風自序。年時不記栄嶺凡例。058と同じ体裁。〔035〕
- 060 **怜野集** 清原雄風編 半 刊本 袋綴 12冊 文化 3 年（1806）刻成 京都／出雲寺文次郎・勝村治右衛門、大坂／河内屋喜兵衛・秋田屋太右衛門、江戸／須原屋茂兵衛・出雲寺萬次郎・岡田屋嘉七 少虫（第一冊のみ虫損多し） 「平部図書之印」印（巻首） * 12巻12冊揃。文化 3 年（1806）橘（加藤）千蔭序。年時不記清原雄風凡例。文化 3 年（1806）年平（村田）春海跋。巻尾に正木千幹の識語あり。刊記に「清原雄風蔵板」とあり。第一冊・第二冊は題簽剥落。〔036〕
- 061 **古今和歌うひまなひ** 鈴木重胤編輯 中 刊本 袋綴 4 冊 京都／出雲寺文次郎・勝村治右衛門、大坂／河内屋喜兵衛・秋田屋太右衛門、江戸／出雲寺萬次郎・岡田屋嘉七・和泉屋喜兵衛 少虫 「平部図書之印」印（巻之四巻首） * 全 8 巻のうち巻之三、巻之四、巻之五、巻之八の 4 冊存。見返題に「二帙／四冊」、「東都書林 名山閣蔵板」とあり。巻之五に見返題、巻之四・巻之八に刊記あり。第 1 冊前後表紙と巻首・目録欠。他の 3 冊も題簽剥落のため外題欠。書名は巻首題による。目録題「今古和歌初学」、見返題「[今古] 和歌うひ学」。〔037〕
- 062 **神代物語百首** 角田忠行著 大 刊本 袋綴 2 冊 明治 6 年（1873）官許 京師／菅廼舎池邨氏 虫損 「平部図書之印」印（巻首） * 上・下 2 巻 2 冊揃。慶應 3 年（1867）平（矢野）玄道序、慶應元年（1865）角田忠行自序。年時不記角田忠行跋。〔052〕
- 063 **読史余感** 近藤幸殖著述 半 刊本 袋綴 1 冊 東京／須原屋茂兵衛・山城屋佐兵衛・小林新兵衛・岡田屋嘉七・和泉屋市兵衛・藤岡屋慶次郎・森屋治兵衛・山口屋藤兵衛・須原屋伊八・出雲寺萬次郎・和泉屋金右衛門・大黒屋平吉版 虫損 * 1 巻 1 冊。明治 4 年（1871）鷲津宣光（毅堂）序、明治 2 年（1869）井公文序。見返題に「有為堂蔵版」、巻尾に「亀山 有為堂蔵版」とあり。虫損激し。〔062〕
- 064 **梨のかたえ** 三条実美詠、高崎正風編輯 大 刊本 袋綴 1 冊 明治26年（1893）刊 高崎正風発行 虫損 * 上・下 2 巻 2 冊揃。明治26年（1893）高崎正風序。同年東久世通禧跋。上巻前遊紙に「亡父安雅兄を信すること厚く談かみ／職界の事に及へは雅兄のことを言はさること無／かりき終大正七年（1918）九月九日幽界に入る／亡父辱交の紀念として梨のかたえ式冊と／梨堂公の短冊一を贈呈す 稲彦／七年（1918）十月二十八日忌明／平部正人雅契」と墨書。「稲彦」の肩に「宮崎那生目神社社司／高妻」とペン字書入あり。明治天皇御製一葉（入江為守書）を挟み込む。〔038〕
- 065 **みはてぬ夢** 藪重貞編輯 大 刊本 袋綴 1 冊 明治30年（1897）発行 藪重貞発行 虫損・破 * 明治29年（1896）中西石陰序。同年松垣内主人宣忠跋。藪重久追悼歌集。〔039〕
- 066 **春日神社昇格記念献詠集** 御園生秀太郎編輯 大 刊本 袋綴 1 冊 昭和 3 年（1928）発行 山口県／春日神社社務所 良 * 春日神社京社昇格記念詠歌集。〔020〕

G 俳 諧

- 067 **華実年浪草三余抄** 鶉河庵文編 半 刊本 袋綴 1冊 虫損 「平部図書之印」印(巻首) * 12巻15冊のうち巻之一上1冊のみ存。安永10年(1781)井上金峨(純経)序、天明元年(1781)油幕庵木雁子庵文(三余斎)序、年時不記空摩居士蓼太序、天明元年(1781)三余斎庵文序。題簽剥落により外題欠。書名は目録題・自序題による。「俳諧三余抄」(序題)、「年浪草」(序題)、「[華実年浪草]三余抄」(巻首題)、「華実年浪草」(柱題)。[134]

(7) 歴 史

A 年 表

- 068 **和漢年契** 蘆屋山人(高昶)著 大 刊本 袋綴 1冊 天保2年(1831)校正再鐫 京都/田正三郎、江戸/須原茂兵衛・前川六左衛門・西村源六・同宗七、大阪/宣英堂葛城長兵衛 良 「平部図書之印」印(巻首)、「三田文庫」印(巻首、重ねて「官賜」と墨書) * 寛政8年(1796)三村其原序。寛政元年(1789)高昶凡例。見返題に「浪速書肆宣英堂蔵」とあり。巻尾に「葛城宣英堂梓行蔵版和漢歴史書目」を載せる。表紙に「和漢年」と墨書。寛政9年(1797)新鐫、文化2年(1805)改正、同13年(1816)補正。題簽剥落により外題欠。書名は見返題による。[180]

B 通史・時代史

- 069 **国史略** 岩垣松苗編次、源言忠校 大 刊本 袋綴 5冊 明治15年(1882)刻成発兌 京都/藤井孫兵衛 虫損 * 5巻5冊揃。文政10年(1827)清原宣光序、文政9年(1826)藤原公修序。見返題・柱刻に「五車楼梓」とあり。第5冊前見返に「野田蔵書」と墨書。一部題簽欠。虫損激し。[058]
- 070 **古事記** 大 刊本 袋綴 1冊 虫損 「平部図書之印」印(巻首) * 全3巻のうち上巻1冊のみ存。後見返に「三巻之内/中巻書/享保六辛丑年(1721年)/高山市兵衛・田中左近・平賀武右衛門・平部豊前・加藤近江」と墨書。表紙は外題欠。書名は巻首題による。[044]
- 071 **古事記** 大 刊本 袋綴 2冊 虫損 「平部図書之印」印(巻首・後表紙裏) * 全3巻のうち中・下2冊存。享和3年(1803)長瀬真幸跋。欄外行間に朱筆書入あり。下巻後表紙・刊記欠。外題欠。書名は巻首題による。享和3年刊「[訂正古訓]古事記」(本居宣長訓・長瀬真幸校)であろう。[045]
- 072 **古事記伝** 本居宣長撰 大 刊本 袋綴 45冊 天保15年(1844)再校 名古屋/永楽屋東四郎、江戸/同出店 虫損 「平部図書之印」印(巻首-1~4、12、14~17、21、23~25、32、35、38、40~43、17附。前遊紙裏-5~6、8~10、13、20、22、26、34、36~37、39。後見返-7、11、18~19、27~31、33、44) * 44巻44冊、巻十七附1冊の計45冊存。巻十七附は巻首題に「三大考」とあり、末尾に「寛政三年(1791)五月廿五日に書キをえぬ 服部中庸」と署名あり、その後に「三大考を読みてしりへにしるせる」と題する宣長の識語を載せる。刊記に「東壁堂蔵版」とあり。[046]
- 073 **古事記伝目録** 大 刊本 袋綴 3冊 文化5年(1808) 鈴乃屋蔵板 少虫(中冊のみ虫損多し) 「平部図書之印」印(後見返) * 上・中・下3冊揃。「古事記伝目録」と「古事記伝注釈目

- 録」から成る。「注釈目録」には文化3年(1806)本居春庭の凡例あり。下冊は題籤剥落により外題欠。〔046.1〕
- 074 **神代記葦牙** 栗田土満編 大 刊本 袋綴 3冊 江戸／須原屋茂兵衛・山城屋佐兵衛・岡田屋嘉七・大島屋伝右衛門、京／菊屋七郎兵衛・山城屋佐兵衛、大坂／大野木宝文堂・小島屋伊兵衛 虫損 「平部図書之印」印(巻首)、未判読印(巻首・背小口) *上・中・下3巻3冊揃。文化8年(1811)本居大平序、文化7年(1810)栗田土満序。文化14年(1817)青柳種信跋、文政2年(1819)大江真船跋、文化10年(1813)石川依平跋。〔051〕
- 075 **神代巻清地伝** 栄名井聡翁 大 刊本 袋綴 4冊 文化元年(1804)刊 江戸／松本平助、大坂／河内屋多助、皇都／めとき屋宗八・河南儀兵衛 虫損・シミ 「平部図書之印」印(巻首) *5巻5冊のうち巻二・三・四・五の4冊のみ存。巻五の後に「神代記清地伝附録」、「神学(カムマナビ)一口伝(ツタへ)」(文化元年(1804)、栄名井聡翁述)、「菅伝(スガツタへ)の添(ソへ)書」(享和3年(1803)源朝臣成保)を付す。享和2年(1802)六人部節香跋。跋の後に「神道学則(カムデノマナビノノリ)」(栄名(サカナ)井聡翁(トシヲヂ)著)あり。その後に享和2年(1802)片岡出羽守源成保・小島権頭藤原重壽跋。文化元年(1804)能清通賀跋。その後に「神学士明派書籍目録」、刊記の後に「書林汲古堂 河南儀兵衛」の出版目録あり。後見返裏に「于時安政七庚申(1860)卯月改之／平部讃岐正」と墨書。〔050〕
- 076 **先代旧事本紀** 大 刊本 袋綴 5冊 寛永21年(1644) 洛陽／前川茂右衛門開版 虫損 *10巻5冊揃。「享和元年(1801)弥生 野田氏 宗賀」と墨書。題籤剥落により外題欠。書名は巻首題・巻尾題・目録題による。〔003〕
- 077 **古語拾遺** 齋部広成撰 大 刊本 袋綴 1冊 明治3年(1870)新刊 京都／出雲寺文次郎・永田調兵衛、大坂／松村九兵衛・柳原喜兵衛、津／篠田伊十郎、東京／出雲寺万次郎・岡田嘉七・小林新兵衛・北澤伊八・太田金右衛門・内野彌平治版(印) 虫損 *1巻1冊。見返題に「東京書林 柏悦堂発行」とあり。巻尾に「三輪田蔵板」とあり。巻尾に「大同二年(807)二月十三日」とあり。行間・欄外に朱筆・墨の書入多し。虫損激し。〔053〕
- 078 **古語拾遺** 齋部広成撰 大 刊本 袋綴 1冊 明治2年(1869) 虫損 *1巻1冊。見返題に「觀齋家塾蔵」とあり。巻尾に「大同二年(807)二月十三日」とあり。前後見返に「明治廿四年(1891)四月十四日／父より貰授 野田守男」「所持／野田氏(印)」等と墨書。刊記なし。外題欠。書名は巻首題・柱題による。「[訂正]古語拾遺」(見返題)。〔054〕
- 079 **古語拾遺示蒙節解** 高田未白(宗賢)解 大 刊本 袋綴 1冊 虫損 「平部図書之印」印(巻首)、「新居庫」印(巻首) *下冊(三巻・四巻)1冊のみ存。宝永6年(1709)巖崎守齋跋。上部欄外・後見返に朱筆書入あり。刊記なし。巻首題「古語拾遺」、巻尾題・柱題・跋題「古語拾遺節解」。〔055〕
- 080 **日本書紀 再刻** 大 刊本 袋綴 15冊 文政13年刻(1830) 東都／須原屋茂兵衛・岡田屋嘉七、摂都／柳原喜兵衛・森本太助・浅井吉兵衛・岡田新次郎、京都／河南儀兵衛・藤井孫兵衛・出雲寺文次郎 並 「平部図書之印」印(巻首) *一、二、三～五、六・七、八～十、十一～十三、十四・十五、十六～十八、十九、二十～二十二、二十三・二十四、二十五・二十六、二十七・二十八、二十九、三十の30巻15冊揃。巻第三十末に慶長15年(1610)洛訥野子三の識語あ

り。慶長4年(1599)清原国賢跋。朱筆書入あり。[048]

081 **日本紀標註** 敷田年始注 大 刊本 袋綴 26冊 明治24年(1891)出版 大阪/小林林之助
刊行 虫損 「平部図書之印」印(後見返-1~7、9~16、18~22、24~25。前見返-8、17、23、26)

*26巻26冊揃。巻之一は目録・凡例・論説・仮字例・異音・古韻・天津日嗣之大御脈・舎人親王略
伝・萬那婆志良から成る、巻之二~四は神代、巻之五以下は天皇記。刊記は巻六(4月出版)・十二
(6月出版)・十七(8月出版)・二十一(10月出版)・二十六(12月出版)にあり。刊記の後に「弘売書
肆」として名古屋/片野東四郎、東京/北畠茂兵衛・原亮三郎、京都/出雲寺文次郎・藤井孫兵衛、
大阪/松村九兵衛・梅原亀七・鹿田静七とあり。虫損激し。[047]

082 **続日本紀** 大 刊本 袋綴 20冊 虫損 「平部図書之印」印(巻首) *40巻20冊揃。明暦3
年(1657)立野春節跋。最終巻末に「於東都客舎以三島景雄本校合畢/天明三年(1783)五月賀茂
季鷹縣主/享和改元(1801)八月二日以縣主本一考畢/法眼謙宜(花押)」と朱書。行間・欄外に朱
筆書入あり。刊記なし。[049]

083 **大勢三転考** 伊達千広著述 半 刊本 袋綴 3冊 東京/東生亀次郎 虫損 「平部図書之
印」印(巻首) *上・中・下3巻3冊揃。上は「骨の代」、中は「職の代」、下が「名の代」。明治
6年(1873)福羽美静序。嘉永元年(1848)伊達千広の巻末識語あり。見返題に「六石山房蔵板」
とあり。題簽剥落により外題欠。書名は見返題による。虫損激し。[132]

084 **武家史 江戸時代** 三上参次講述 大 写本 袋綴・仮綴 1冊 並 *貳1冊のみ存。表紙に
「千枝の屋主人筆記」とあり。[078]

085 **【逸名写本】** 大 写本 袋綴・仮綴 1冊 虫損・破 *「武人割拠」「甲越ノ戦」「政事及
風俗」「織田信長」「豊臣秀吉」「朝鮮征伐」「関原ノ戦」「外交」「政事風俗」「徳川家康」「徳川秀忠
家光家綱及家綱(本文ママ)」「徳川光圀」「外交及耶蘇教」「文学ノ振起」「新井君美(白石)」「徳川
吉宗ノ中興」「松平定信」「米艦渡来」「尊王論徳川幕府ノ末路」の見出しあり。巻頭・巻尾に欠損
あり。応仁の乱から幕末までの歴史を記述。書名は仮につけたもの。[141]

C 雑 史

086 **近古史談** 大槻磐溪著(平崇士広)述、大槻修二・大槻文彦刪修 半 刊本 袋綴 4冊 明治
18年(1885)四刻刻成(巻二刊記)、明治15年(1882)出版発兌(巻四刊記) 大阪/柳原喜兵衛・岡
島真七・三木佐助(印)(以上巻二刊記)、大阪/柳原喜兵衛・三木美記(以上巻四刊記) 並 「平部
図書之印」印(巻首・前見返) *4巻4冊揃。安政2年(1855)塩谷世弘序。明治14年(1881)大
槻文彦識語。巻之二・巻之四に刊記あり。巻之一・巻之二柱刻に「大槻氏蔵版」、巻之三・巻之四
柱刻に「柳三蔵版」とあり。巻之二後表紙に「中萬太平」と墨書。巻之三後見返に「平部正人」と
朱印。巻之四後見返に「新山/長男/士族 平部正人」と墨書。題簽欠。外題はペンで直書。「刪
修近古史談」(目次題・巻首題・巻尾題・柱題)。[063]

D 史 論

087 **神皇正統記** [評註校正] 河喜多真彦校 大 刊本 袋綴 6冊 皇都/大谷津逮堂吉野屋仁
兵衛版 虫損 「平部図書之印」印(巻首、但し第2冊のみなし)・未判読印(巻首) *6巻6冊揃。

慶應元年（1865）安積信（良齋）序（河北真一〈河喜多真彦〉書）。同年布衣藤（河喜多）真彦跋。見返題に「京城 同盟書買梓」とあり。第5冊のみ題簽存、他は欠。巻首題・巻尾題・目録題「標註校訂神皇正統記」、柱題「神皇正統記」。〔056〕

088 **神皇正統記**〔翻刻評註校正〕 北畠親房撰、河喜多真彦校 大 刊本 袋綴 6冊 明治15年（1882）出版 京都／大谷仁兵衛原版、大阪／伊藤猪次郎翻刻 虫損 「平部文庫」印（巻首）
* 6巻6冊揃。慶應元年（1865）安積信（良齋）序（河北真一〈河喜多真彦〉書）。同年布衣藤（河喜多）真彦跋。見返題に「京城 同盟書買梓」とあり。題簽一欠。巻首題・巻尾題・目録題「標註校訂神皇正統記」、柱題「神皇正統記」。〔057〕

089 **読史余論** 新井君美（白石）著、萩原裕校正 半 刊本 袋綴 6冊 万延元年（1860）刻成、明治9年（1876）版權免許 甲府／内藤伝右衛門 虫損 「平部図書之印」印（巻首） *12巻6冊揃。安政5年（1858）萩原裕（公寛）序。見返題に「文部省検定済中学校教科用書」、刊記に「文部省検定済教科用書」とあり。見返題に「甲府書肆 温故堂内藤蔵」とあり。〔061〕

090 **保建大記** 栗山潜蜂（愿）著 大 刊本 袋綴 2冊 正徳6年（1716） 京都／茨城多左衛門繡梓 少虫 *乾・坤2冊揃。正徳2年（1712）三宅緝明序、元禄2年（1689）栗山愿自序。正徳4年（1714）安積覚跋。巻首に八上宮尚仁親王へ栗山愿の牋あり。坤冊題簽欠。〔059〕

091 **保建大記打聞** 谷重遠（秦山）講説 大 刊本 袋綴 3冊 京師／柳枝軒茨城多左衛門 良 * 3巻3冊揃。巻尾に享保5年（1720）茨城方道の識語あり。全体にわたって墨による抹消線多し。第1冊題簽欠。〔060〕

E 伝記

092 **東照宮** 大 写本 袋綴 1冊 虫損 *題簽剥落により外題欠。書名は巻首題による。〔142〕

093 **駿河土産** 大道寺重祐著 大 写本 袋綴 3冊 虫損 「平部図書之印」印（巻首）・「飯塚文庫」印（中巻巻首） *上・中・下3巻3冊揃。各冊冒頭に目録あり。虫損激し。〔082〕

094 **明治考節録** 近藤芳樹編輯 大 刊本 袋綴 3冊 明治10年（1877）出版 東京／穴山篤太郎・西口忠助・吉川半七 虫損 「平部図書之印」印（巻首） * 4巻4冊のうち巻一・三・四の3冊存。明治9年（1876）元田永孚序。明治8年（1875）近藤芳樹例言。刊記に「宮内庁蔵版々権所有」とあり。巻一・巻三は虫損が激しいが、巻四は傷みが少ない。〔083〕

F 家伝

095 **南木誌** 中山利質編輯、長山貫校訂 大 刊本 袋綴 5冊 東京／須原屋茂兵衛・山城屋佐兵衛・小林新兵衛・和泉屋吉兵衛・岡田屋嘉七・和泉屋金右衛門・須原屋伊八・英屋文蔵・嶋屋平七・福田屋勝蔵 虫損 「平部図書之印」印（巻首） * 5巻5冊揃。弘化5年（1848）板倉勝明序、嘉永2年（1849）中山利質自序。元治元年（1864）長山貫跋。見返題に「東京書肆 萬延堂発兌」とあり。虫損激し。〔067〕

G 外国史

096 **赤県太古伝** 平田篤胤著 大 刊本 袋綴 1冊 少虫 「平部図書之印」印（巻首）・「眞木迺

舎」印(巻首) *巻尾に「伊吹廼屋先生及門人著述刻成之書目 塾蔵版」1丁あり。刊記なし。
〔095〕

097 **印度蔵志略** 平田篤胤撰、矢野玄道節略、平田胤雄・井上頼國・戸澤盛定同校 半 刊本 袋綴 2冊 明治21年(1888)出版 平田以志発行 虫損 「平部図書之印」印(巻首) *和装活字本。2巻2冊揃。一之巻は題簽剥離別添、題簽に「印度蔵志略 前集 一」とあり。二之巻は題簽剥落により外題欠。〔125〕

(8) 地理

A 地誌

098 **京の水** 秋里湘夕編 大 刊本 袋綴 2冊 寛政3年(1791)発行 京都/小川多左衛門・野田藤八・吉野屋為八 虫損 「平部図書之印」印(巻首) *2巻2冊付図のうち麟之巻、鳳之巻の2冊存(付図は欠)。寛政2年(1790)大江資衡序。〔081〕

099 **南満洲写真大観** 大 刊本 大和綴 1冊 シミ・破 *洋紙活字本。明治44年(1911)大内丑之助序、明治43年(1910)國澤新兵衛序。刊記なし。末尾に欠落あり。洋紙〔149〕

100 **満洲写真帖** 大 刊本 大和綴 1冊 昭和2年(1927)改訂四版 旅順/東京堂 破・シミ *洋紙活字本。大正14年(1925)初版発行。洋紙。〔147〕

101 **新満洲国写真大観** [満洲事変上海事変] 野間清治編輯 大 刊本 1冊 昭和7年(1932)発行 東京/大日本雄弁会講談社 破 *洋装上製活字本。洋紙。〔148〕

(9) 政治・法制

A 政治

102 **歴朝詔詞解** 本居宣長解 大 刊本 袋綴 4冊 明治9年(1876)版權免許 虫損 「平部図書之印」印(巻首) *6巻6冊揃。第6巻巻尾に「享和三年(1803)亥九月/須受能耶蔵板」とあり。刊記に「蔵版人 本居健亭」とあり。虫損甚だしい。「続紀歴朝詔詞解」(巻首題)、「詔詞解」(柱題)。〔088〕

103 **新論** 会澤恒蔵(正志斎)著 大 刊本 袋綴 2冊 安政4年(1857)刊 京都/出雲寺文次郎、大坂/河内屋喜兵衛、水戸/須原屋安次郎、江戸/山城屋佐兵衛 並 「杉本清口之印」印(巻首)・「今井周印」印(巻首) *上・下2巻2冊揃。見返題に「江戸書林 玉山堂蔵梓」、柱刻に「玉山堂」とあり。欄外墨書書入・朱点・朱字書入あり。上巻は題簽剥離別添、下巻は題簽剥落により外題欠。〔131〕

B 法制

104 **評注令義解校本** 近藤芳樹著 大 刊本 袋綴 6冊 京都/河内屋藤四郎、江戸/須原屋茂兵衛・山城屋佐兵衛・須原屋新兵衛・山城屋政吉・英文蔵・丁子屋平兵衛・岡田屋嘉七・和泉屋吉兵衛、大阪/河内屋藤兵衛・河内屋茂兵衛版 虫損 「平部図書之印」印(巻首) *3巻5冊と

- 開題 1 冊の 6 冊揃 (開題・一・二上・二下・三上・三下の 6 冊)。見返題に「浪花書肆 田中宋栄堂・岡田群玉堂合梓」とあり。題簽一部剥落。〔069〕
- 105 **類聚三代格** 大 写本 袋綴 6 冊 虫損 「平部図書之印」印 (巻首) * 巻第一・第三・第五・第七・第八・第十二の 6 冊存。第 6 冊末に「類聚三代格六巻施朱者大江玄圃先生／以校正之本謄写之焉然頗脱文亦／謬誤不少尚得善本欲為再校者也／寛政第九 (1797) 巳七月 紀武起誌」と奥書あり。上部欄外に墨書書入あり。全体にわたり朱点・朱筆校合訂正あり。巻尾の朱筆奥書に「明和元年 (1764) 八月依中原家之本謄写焉／一校畢 大江資衡誌 (印)」。(070)
- 106 **延喜式** 大 刊本 袋綴 14 冊 虫損・破 「平部図書之印」印 (巻首)・「都城県□□□□□」(巻首、但し第 1 冊目にはなし)・「飢肥文庫」(巻首) * 序・巻第一、巻第四、巻第九、巻第十、巻第十一、巻第十二、巻第十三・十四、巻第十六・十七、巻第二十六、巻第三十五・三十六 (前半欠落)、巻第三十八 (後半欠落)、巻第三十九 (表紙欠)、巻第四十 (冒頭・後半欠落)、巻第四十三・四十四 (前半欠落) の 14 冊存。第 1 冊巻首に享保 8 年 (1723) 出雲寺蔵版とする識語あり。続いて延長 5 年 (927) の上表文、目録、「歴運記 今名公卿記」、序あり。巻第十末尾に「書于神名帳後」(寛文 7 年 (1667)、松下見林) を付す。〔071〕
- 107 **法曹至要鈔** 坂上明基著 大 刊本 袋綴 2 冊 虫損・破 「平部図書之印」印 (巻首)・「林董蔵書」印 (巻首)・「島田蔵書」印 (巻首) * 3 巻 3 冊のうち上・中 2 冊のみ存。巻尾に「平部氏」と墨書。中巻は前後表紙欠。〔079〕
- 108 **法のしをり** 平部正人述、平部直筆記 大 写本 袋綴・仮綴 1 冊 虫損 * 一之巻 1 冊のみ存。巻首に目次を置く。本文巻首に「平部正人述／平部直筆記」と記す。朱筆の注、欄外書入多し。〔077〕
- 109 **法のしをり 職掌部** 平部正人述、平部直筆記 大 写本 袋綴・仮綴 1 冊 並 * 一 1 冊のみ存。表紙に「千枝の記」と墨書。一面 11 行の罫紙使用。朱筆の注、欄外書入多し。〔076〕
- 110 **職原抄 校訂** 北畠親房著、速水房常校訂 大 刊本 袋綴 2 冊 虫損 「平部図書之印」印 (巻首)・未判読印 * 上・下 2 巻 2 冊揃。巻尾に桃華老人の識語あり。延享 4 年 (1747) 速水房常跋。刊記なし。表紙のみ虫損・傷み。〔073〕
- 111 **標註職原抄校本** 近藤芳樹著 大 刊本 袋綴 6 冊 安政 5 年 (1858) 新鐫 豊後杵築／肥後屋半兵衛、長州萩／山城屋彦八、肥後熊本／豊前屋太右衛門、藝州広島／井筒屋勝治郎、紀州若山／坂本屋大二郎、江戸／山城屋佐兵衛・岡田屋嘉七・須原屋茂兵衛、京都／田中屋治助、大坂／敦賀屋彦七・秋田屋太右衛門 虫損 「平部図書之印」印 (巻首) * 上巻本・末、下巻本・末、別記本・末の 6 冊揃。嘉永 7 年 (1854) 安積信序。見返題に「書肆 田中宋栄堂発兌」とあり。別記下末尾に「近藤芳樹先生著書目録」1 丁あり。〔075〕
- 112 **職原抄私記** 大 刊本 袋綴 4 冊 正保 5 年 (1648) 京都／林甚右衛門開板 虫損 「平部図書之印」印 (巻首) * 巻上本・末、巻下本・末の 4 冊揃。虫損激し。〔074〕
- C 補 任
- 113 **雲上明覽大全** 小 刊本 袋綴 1 冊 疲・虫損・汚れ・破 * 上・下 2 冊のうち上 1 冊のみ存。天保 8 (1837) 年無記名序。外題欠。題簽剥離別添。「雲上明覽大全 元治元年甲子改」(見返

題)。[128]

D 年中行事

- 114 **公事根源** 一条兼良著 大 刊本 袋綴 3冊 京都／河内屋藤四郎、江戸／須原屋茂兵衛・山城屋佐兵衛・須原屋新兵衛・山城屋政吉・英大助・英文蔵・丁子屋平兵衛・岡田屋嘉七、大阪／河内屋藤兵衛・河内屋茂兵衛 虫損 「平部図書之印」印(巻首)・「求古落丁改」印(第1冊巻首)
*上・中・下3冊揃。元禄7年(1694)松下見林跋。巻尾に「銅駝坊書肆平楽寺村上勘兵衛寿梓」とあり。虫損激し。[072]

(10) 経 済

A 経 済

- 115 **経済説略** 永田健助編述 半 刊本 袋綴 1冊 明治12年(1879) 版權免許 東京／丸屋善七・和泉屋市兵衛・和泉屋吉兵衛・森屋治兵衛・弘文社 虫損 「平部図書之印」印(巻首)・「口羈齋図書記」印(巻首) *全2冊のうち巻之下1冊のみ存。刊記に記者兼出版人として永田健助とあり。虫損激し。[080]

(11) 教 育

A 教 育

- 116 **永代大雑書三世相** 大 刊本 袋綴 1冊 虫損・疲・汚・破 *巻尾破損により刊年不明。天保11年(1840)成立か。外題汚損により判読不能。書名は目録題による。目録尾題・巻尾題「永代雑書三世相」、柱題「永代大雑書」。[002]
- 117 **三條教則辨** 半 刊本 袋綴 1冊 虫損 「平部図書之印」印(巻首) *外題欠。書名は見返題による。巻首題「三條教則辨」、柱題「教則弁」。[090]
- 118 **三則童諭目安 一人人間心得草** 上田及淵(南宮)著述 半 刊本 袋綴 1冊 明治6年(1873) 上梓 浪華／大野木市兵衛発兌(見返題) 虫損 「平部図書之印」印(巻首) *明治6年(1873) 岡直廬序。巻尾に「明治六年(1873)八月廿八日／岡山縣上田公正塾講本／安仁神社禰宜御船寧氣補治」とあり。刊記に「書肆版元」として大阪／大野木市兵衛・山本政治郎、「弘通所」として備前岡山／渡邊源米・世良田益太郎・富木徳得。その他「発行書林」として18書肆を列記。外題欠。書名は見返題による。[091]
- 119 **小学道德論** 松田正久訳、西周閱 半 刊本 袋綴 3冊 明治13年(1880) 大坂／柳原喜兵衛、東京／山中市兵衛発兌、東京／牧野善兵衛発兌製本所 良 「平部図書之印」印(巻首)
*3巻3冊揃。明治13年(1880)西周序、同年西村茂樹序。[093]
- 120 **民権講義略解** 菊池純(三溪)著 半 刊本 袋綴 2冊 明治8年(1875) 開版 京都／田中治兵衛 虫損 「平部図書之印」印(巻首) *上・下2巻2冊揃。見返題に「西京書林文求堂発兌」とあり。[094]

121 **心理学** 黒木千尋講述 大 写本 袋綴 1冊 平部直筆記 並 *ペン書き。〔098〕

B 教訓

122 **女いましめの和哥** 大 写本 袋綴・仮綴 1冊 虫損・疲 〔086〕

123 **女誠和解** 堀田正毅著 大 刊本 袋綴 1冊 並 「平部図書之印」印(巻首) *文化9年(1812)左少将定信序、年時不記無記名序、文化9年(1812)堀田正毅自序、同年安董序、同年林衡跋。見返題に「鼓文堂」とあり。後見返に「原迫／平部朝致」と墨書。刊記なし。題簽剥落により外題欠、書名は見返題による。巻首題「曹大家女誠和解」。〔085〕

124 **女四書芸文図会** 村田嘉言画 大 刊本 袋綴 1冊 千鐘房・宋栄堂合梓 虫損・汚 「平部図書之印」印(巻首) *4巻4冊のうち第1巻のみ存。年時不記無記名序、天保6年(1835)清原宣明序。後見返に「上十文字／伊原氏／四冊之内」と墨書。題簽剥落により外題欠、書名は見返題による。序題「女四書図会」、目録題「女誠」、巻首題・巻尾題「漢曹大家女誠図会」、柱題「女誠図会」。〔084〕

C 往来物

125 **庭訓往来** 大 写本 袋綴・仮綴 1冊 虫損・破 *表紙欠。書名は巻首題による。巻尾欠損。〔179〕

D 教科書

126 **小学鈔** 深井鑑一郎校 半 刊本 1冊 明治44年(1911)訂正再版発行 東京・大阪／宝文館 虫損・破(表紙) 「平部蔵書」印(巻首) *和装洋紙活字本。明治44年(1911)編者緒言。明治44年(1911)7月初版発行、同年11月訂正再版発行。明治44年(1911)11月30日文部省検定済。洋紙。外題欠。書名は見返題による。〔119〕

127 **国語読本 卷七** [尋常] 金港堂書籍株式会社編輯 半 刊本 袋綴 1冊 明治33年(1900)訂正再版発行 金港堂書籍株式会社発行 並 *和装活字本。卷七1冊のみ存。前見返に「榎原」、前遊紙裏に「此主／榎原村 時任ミサヲ」(朱)「時任ミサヲ」、後表紙裏に「榎原村社務所／時」と墨書。明治33年(1900)9月発行、同年12月訂正再版発行。尋常小学校国語科児童用教科書文部省検定済。〔108〕

128 **高等小学読本** 半 刊本 袋綴 1冊 明治21年(1888)発行 虫損・破 *和装活字本。巻之三1冊のみ存。後見返に「南那珂郡飢肥／平部蔵書(印)」と墨書。文部省編輯局蔵版。前表紙欠。〔107〕

129 **高等小学読本卷之五** 半 刊本 袋綴 1冊 明治22年(1889)出版 東京・大阪／大日本図書会社発売 虫損・シミ *和装活字本。巻之五1冊のみ存。刊記に「文部省総務局図書課蔵版」とあり。下小口に「平部直」と墨書。銅版挿絵あり。題簽剥落により外題欠。書名は巻首題による。〔127〕

130 **女子読本** 塚原靖撰 半 刊本 袋綴 1冊 明治20年(1887)刊 東京・大阪／金港堂原亮三郎 虫損 *和装活字本。巻之四1冊のみ存。巻尾に「此主／齋藤とり子」と墨書。自明治二十

- 年（1887）二月一日至同廿五年（1892）一月卅一日文部省検定済小学校教科用書。題簽剥落により外題欠。書名は見返題による。〔122〕
- 131 **中学国語読本** [再訂] 落合直文著、明治書院編集部補修 半 刊本 1冊 明治39年（1906）再訂第二版発行 明治書院 良 *和装洋紙活字本。卷三1冊のみ存。明治38年（1905）再訂開版発行。明治39年（1906）2月22日文部省検定済中学校国語科用。洋紙。外題欠。書名は卷首題による。「再訂中学国語読本」（柱題）。〔110〕
- 132 **国文教科書** [近体] 関根正直編輯 半 刊本 袋綴 1冊 東京書肆／十一堂（長谷部仲彦）発行 虫損 「平部図書之印」印（巻首） *一之巻1冊のみ存。年時不記井上毅序。外題欠。書名は見返題による。〔111〕
- 133 **中等国文** 井上頼圀・逸見仲三郎編纂 半 刊本 袋綴 3冊 明治29年（1896）訂正再版 東京／吉川半七 虫損・破 「平部文庫」印（巻首） *和装活字本。三の巻上、四の巻上・下の3冊存。背小口に「平部蔵」と墨書。明治29年（1896）12月28日文部省検定済。尋常中学校国語科教科用書。題簽剥落により外題欠、三之巻上のみ題簽別添え。〔109〕
- 134 **作文必携** [新選要文] 福田宇中著、志貴瑞芳閱 半 刊本 袋綴 1冊 明治10年（1877）刻成 大阪／中川勘助・前川源七郎・森本太助・眞部武助 虫損・破・シミ 「平部図書之印」印（巻首） *巻之下1冊のみ存。前見返に大阪・前川源七郎、同・野原新兵衛の出版広告あり。巻末に「出版図書目録」（柱刻に「前川氏蔵版」とあり）2丁あり。後見返に「平部氏」、後表紙に「慶一郎」、背小口に「平部氏」と墨書。傷み激し。題簽剥落により外題欠。書名は巻首題による。〔123〕
- 135 **新編漢文読本** 簡野道明編 半 刊本 1冊 明治44年（1911）訂正発行 東京／明治書院 並 *和装洋紙活字本。巻一1冊のみ存。後見返に「平部俊嗣」と墨書。鉛筆書入あり。明治44年（1911）10月発行、同年12月訂正発行。明治45年（1912）1月8日文部省検定済中学校漢文科教科用書。洋紙。題簽剥落により外題欠。書名は見返題による。〔115〕
- 136 **中学漢文読本** 秋山四郎編 半 刊本 袋綴 3冊 明治29年（1896）訂正再版 東京／金港堂書籍株式会社 少虫 「平部文庫」印（巻首） *和装活字本。巻之四・五・七の3冊存。背小口に「平部蔵」と墨書。明治28年（1895）初版発行。明治29年（1896）8月17日文部省検定済尋常中学校漢文科生徒用教科書。3冊とも外題欠。書名は見返題による。〔112〕
- 137 **中学読本** [漢文] 松本豊多編纂 半 刊本 袋綴 2冊 明治26年（1893）発行 東京／吉川半七 虫損 「平部文庫」印（巻首） *巻二上・下2冊存。背小口に「平部蔵」と墨書。題簽剥落により外題欠。書名は見返題による。〔114〕
- 138 **中等漢文教科書** 国語漢文研究会編 半 刊本 袋綴 1冊 明治37年（1904）15版発行 東京／明治書院 虫損 *和装活字本。巻五1冊のみ存。欄外朱筆書入あり。明治36年（1903）訂正再版発行。明治36年（1903）3月2日文部省検定済。題簽剥落により外題欠。書名は見返題による。〔116〕
- 139 **中等漢文読本** 星野恒校閱、宝文館編輯所編纂 半 刊本 2冊 明治41年（1908）訂正再版発行 東京・大阪／宝文館発兌 良 *和装洋紙活字本。巻一・三の2冊存。明治41年（1908）11月発行、同年12月（1908）訂正再版発行。明治41年（1908）1月7日文部省検定済。洋紙。〔113〕
- 140 **標註漢文教科書** 深井鑑一郎・堀捨次郎編纂 半 刊本 袋綴 2冊 明治25年（1892）第二

- 版（卷之三）、明治26年（1893）第二版（卷之四） 東京／吉川半七 少虫 *和装活字本。卷之三・四の2冊存。明治25年（1892）初版出版（卷之三・四）。題簽剥落により外題欠。書名は巻首題による。〔117〕
- 141 **蒙求鈔** 深井鑑一郎校 半 刊本 1冊 明治44年（1911）訂正再版発行 東京・大阪／宝文館 虫損・破（前後表紙） 「平部蔵書」印（巻首） *和装洋紙活字本。明治44年（1911）編者緒言。巻首・後表紙に「平部」と墨書。明治44年（1911）7月初版発行、同年11月訂正再版発行。明治44年（1911）11月30日文部省検定済。洋紙。〔120〕
- 142 **論語抄** [倫理教科] 山本信孝輯 半 刊本 袋綴 2冊 明治30年（1897）三版発行 東京／富山房発兌 少虫 「平部文庫」印（巻首） *和装活字本。上・下2巻2冊揃。背小口に「平部蔵」と墨書。明治29年（1896）初版発行。題簽剥離別添。〔118〕
- 143 **中学修身書** [改修] 澤柳政太郎著 半 刊本 1冊 大正3年（1914）修正六版発行 東京／同文館 並 *和装洋紙活字本。巻三1冊のみ存。明治42年（1909）初版発行、同年修正再版発行。大正3年（1914）12月28日文部省検定済。洋紙。〔121〕
- 144 **理科読本 第二** [新撰] 武田安之助訳補 半 刊本 袋綴 1冊 明治21年（1888）刊 東京・大阪／金港堂原亮三郎 虫損・シミ・綴糸切れ *第二1冊のみ存。扉に「文部省検定済」「東京 金港堂蔵版」とあり。銅版挿絵あり。外題欠。書名は扉題による。〔126〕

(12) 芸術

A 図案

- 145 **求古美術模様 初編** 中田彌三郎 大 刊本 袋綴・大和綴 1冊 明治28年（1895）発行 大阪／小野彦三郎・三宅栄吉 虫損 *初編1冊のみ存。明治26年（1893）鼎湖石重賢序、同年菅原赤男序。見返題に「平瀬亀之輔君校／紅雪園春芳翁稿」、「求古館」とあり。中井徳次郎彫刻兼印刷。題簽剥落により外題欠。書名は見返題による。虫損激し。目次題「求古美術模様初巻」。〔135〕

B 書道

- 146 **真書千字文** 巖谷修（一六）書 大 刊本 袋綴 1冊 明治27年（1894）発行 大阪／田中太右衛門（宋榮堂）発行 少虫・シミ 「平部文庫」印（巻首） *背小口に「平部蔵」と墨書。前遊糸裏に「日向児湯郡川南村字大池村／河部清口」と墨書（墨で抹消）。題簽剥落により外題欠。書名は見返題による。〔169〕
- 147 **真草千字文** 佐瀬得所筆 大 刊本 袋綴 1冊 明治10年（1877）発行 山中孝之助出版、山中市兵衛・山中北郎発兌 虫損 *見返題に「東京書林 井冽堂蔵版」とあり。背小口に「平部」、「正人」と墨書。題簽剥落により外題欠。書名は見返題による。虫損激し。「二體千字文」（扉題・巻首題）。〔177〕
- 148 **三體千字文** 村田浩蔵（海石）書 半 刊本 袋綴 1冊 明治25年（1892）再版 大阪／吉岡平助 破 「平部文庫」印（巻首） *柱刻に「五車堂蔵」とあり。背小口に「平部（「平部」丸印）」と墨書。明治15年（1882）初版。題簽剥落により外題欠。書名は巻首題による。〔170〕

(13) 諸 芸

A 茶 道

- 149 **清湾茶会図録** 青湾茶寮主人直入居士（田能村直入）編 小 刊本 袋綴 3冊 文久3年（1863）発行 虫損 *天・地・人3巻3冊揃。文久3年（1863）落合賡序、文久2年（1862）藤原口口序、同年自序。見返題に「煙嵐深處田氏蔵梓」、柱刻に「煙嵐社蔵梓」とあり。刊記に「浪華 田能邨氏蔵梓」、「執事 煙嵐社／白頭社／隨意社」とあり。〔129〕

B 占 ト

- 150 **周易本筮指南** 谷川順祐撰 大 刊本 袋綴 1冊 虫損 「平部図書之印」印（巻首） *2巻2冊のうち巻之上1冊のみ存。文政3年（1820）谷川順祐序。外題欠、書名は巻首題による。虫損激し。〔103〕
- 151 **範圍図説** 鷺谷為明編次、谷川順（祐信）補訂 大 刊本 袋綴 1冊 文政13年（1830）刊 京都／野田嘉助、江戸／須原茂兵衛、大阪／浅野弥兵衛発行 虫損 *文政10年（1827）谷川順祐信序。「附録」（谷川順撰）を付す。刊記に「浪華 含章堂蔵」とあり。後見返に大阪書林・藤屋徳兵衛の出版目録あり。〔104〕
- 152 **新撰亀相記抄** 阪正裕著 半 刊本 袋綴 1冊 明治24年（1891）出版 阪正裕発行 虫損 「平部図書之印」印（巻首） *和装活字本。年時不記角田忠行序。題簽剥落。〔101〕

(14) 武学・武術

A 武 術

- 153 **秘書** 大 写本 袋綴・仮綴 1冊 安政3年（1856）写 平部禎一写 虫損 *上・下合1冊。表紙に「秘書 上下」とあるが、本文には分巻の形跡なし。巻尾に「安政三（1856）丙辰初夏写之／平部禎一所蔵」と奥書あり。虫損激し。〔139〕

B 兵 法

- 154 **武学拾粹** 星野常富編 大 写本 袋綴・仮綴 3冊 少虫 *全8巻のうち巻之一、巻之二、巻之三・巻之四（合冊）の3冊存。文政5年（1822）佐藤一斎序。巻之一冒頭に全8巻の目録あり。〔130〕
- 155 **皇朝戦略編** 宮田敏（茂行・円陵）編輯 大 刊本 袋綴 4冊 安政2年（1855）新刻 虫損・破 「平部図書之印」印（巻首）・「彦根藩蔵書印」印（第1冊・第6冊巻首） *15巻のうち巻第一～第四の4冊存。弘化2年（1845）澤田師厚序、同年神楚世猷、天保15年（1844）宮田敏自序。見返題に「脩古堂蔵版」とあり。虫損・破れ激し。〔068〕

(15) 和刻本漢籍・準漢籍

- 156 易經 改點 [校訂音訓] 大 刊本 袋綴 2冊 虫損 「平部図書之印」印(巻首) *乾・坤2冊存。天保12年(1841)川田興序、文化10年(1813)三谷欄序、同年佐藤坦(一斎)序。見返題に「林家読本再葉」とあり。巻首に「清蔵書(印)」、巻尾に「明治二年(1869)初春念六購焉」と墨書。題簽剥落により外題欠。但し乾冊のみ剥がれた題簽残存。書名はその題簽による。「[校訂音訓]五経」の一部。見返題「[音訓]五経」、序題「再刻音訓五経」、「刻音訓五経」、「音訓五経」、柱題「校訂音訓五経」。(163)
- 157 易学階梯附言 大 刊本 袋綴 1冊 虫損 *2巻2冊のうち巻之上1冊のみ存。外題欠。書名は巻首題による。(102)
- 158 詩経 [校訂音訓] 大 刊本 袋綴 2冊 虫損 未判読印(上册巻尾) *上・下2冊存。上下欄外・行間に朱筆書入あり。下冊15丁裏に角筆書入あり。題簽剥落により外題欠。書名は柱刻による。「校訂音訓 五経」の一部。次項とはツレか。(164)
- 159 礼記 改點 [校訂音訓] 大 刊本 袋綴 4冊 文化10年(1813)刊 京都/勝村治右衛門、大坂/秋田屋太右衛門、江都/須原屋茂兵衛梓 虫損 「平部図書之印」印(巻首)・未判読印2種(巻尾) *元(第一~五)、亨(第六~十四)、利(第十五~二十四)、貞(第二十五~四十九)の全4冊。至治2年(1322)澤沈澹序。前見返に「共四冊/此主/伊東正方」と墨書。一部題簽剥落。虫損激し。前項とはツレか。序題「礼記集説」。(176)
- 160 四書集註 [改正] 後藤芝山点、男師周校訂 大 刊本 袋綴 10冊 元治元年(1864)補刻 浪華/河内屋藤兵衛 虫損 「平部図書之印」印(巻首)・「平部」丸印(「論語」第4冊目巻首) *「大学」(朱熹章句)1冊、「中庸」(朱熹章句)1冊、「論語」(朱熹集註)4冊(巻之一・二、巻之三~五、巻之六・七、巻之八~十)、「孟子」(朱熹集註)4冊(巻之一・二、巻之三~六、巻之七~十、巻之十一~十四)の全10冊揃。見返題に「林家正本再刻」、刊記に「群鳳堂蔵版」とあり。「大学」巻首に「矢野克」、後見返に「矢野軍七」と墨書。「中庸」1冊は前表紙欠。虫損・傷み激し。全冊題簽剥落して外題欠。書名は見返題による。(161)
- 161 孟子 大 刊本 袋綴 1冊 文政3年(1820)再刻 京都/北村四良兵衛・同庄助、浪華/山内五良兵衛(「松敬堂蔵」印) 虫損 「六憐荘蔵」印(巻首) *四書のうち孟子第四冊(巻之十一~十四)の1冊のみ存。題簽の剥がれた後に「孟子四」と墨書。後見返に「平部氏」と墨書。寛政4年(1792)御免上梓、寛政6年(1794)発兌の再刻本。(162)
- 162 十八史略 明治新刻 [備考標記] 曾先之編次、陳殷音述、王逢點校、奥野精一(遜齋)標記 大 刊本 袋綴 7冊 明治18年(1885)発版 京都/藤井孫兵衛(五車楼) 良(第1冊のみ少し傷み) 「平部図書之印」印(巻首) *7冊揃。明治13年(1880)三宅観序、同年菊池純序。同年奥野精一例言。刊記の後に「三府発行書肆」「諸国発行書肆」として107書肆を列記。巻首に「與地遠隔図」(淡彩色刷)と「歴代国号系譜」を置く。見返題と柱刻に「五車楼梓」とあり。背小口に「平部」と墨書。目録題・巻首題・巻尾題「明治新刻備考標記十八史略」、柱題「[明治新刻]備考標記十八史略」。(168)
- 163 小学 陳選句読 大 刊本 袋綴 1冊 寛政7年(1795) 浪速/志多森善兵衛・柳原喜兵

- 衛・松村九兵衛・大野木市兵衛 虫損 *巻六1冊のみ存(全4冊のうちの第4冊目)。刊記に「有文閣蔵版」、柱刻に「有文閣蔵」とあり。後見返に「発行書肆」として、江戸/須原屋茂兵衛・山城屋佐兵衛・須原屋新兵衛・岡田屋嘉七・和泉屋吉兵衛・須原屋伊八・出雲寺萬治郎・紙屋徳八、尾州名古屋/菱屋久八、大坂/河内屋源七郎板と書肆名列記。刊記に「共四本/沓岐廣叟」裏表紙裏に「沓岐廣叟」と墨書。柱題「小学句読」。[165]
- 164 **小学示蒙句解** 大 刊本 袋綴 2冊 虫損 「平部図書之印」印(巻首) *巻之五中・下の2冊存。虫損激し。題簽剥落により外題欠。書名は巻首題による。[167]
- 165 **小学集成** 大 刊本 袋綴 5冊 万治元年(1658) 風月庄左衛門新刊 虫損 *10巻5冊揃。第1冊(序・目録・題辭・綱領・図説・巻之一)、第2冊(巻之二・三)、第3冊(巻之四・五)、第4冊(巻之六~八)、第5冊(巻之九・十・跋)。後見返に「発行書肆」として、江戸/須原屋茂兵衛・山城屋佐兵衛・須原屋新兵衛・岡田屋嘉七・和泉屋吉兵衛・須原屋伊八・出雲寺萬治郎・紙屋徳八、尾州名古屋/菱屋藤兵衛、大坂/河内屋源七郎板と書肆名列記。第1冊目・第2冊目・第3冊目後見返及び第5冊目前見返に「藤原正家」と墨書。全冊題簽剥落により外題欠。但し第3冊のみ剥がれた題簽残存。書名はその題簽による。巻首題・巻尾題「評題註疏小学集成」。[166]
- 166 **七書直解** 大 刊本 袋綴 14冊 寛永20年(1643) 刊 京都/澤田庄左衛門新刊 虫損 「平部図書之印」印(巻首) *12巻14冊揃。第1冊は序・目録、第2冊(巻之一)~第4冊(巻之三)「孫武子直解」、第5冊(巻之四)「呉子直解」、第6冊(巻之五)「司馬法直解」、第7冊(巻之六)・第8冊(巻之七)「唐太宗李衛公直解」、第9冊(巻之八)・第10冊(巻之九)「尉繚子直解」、第11冊(巻之十)「三畧直解」、第12冊・第13冊(巻之十一)・第14冊(巻之十二)「六韜直解」から成る。各冊後見返に「清氏蔵本/慶応三年(1867)丁卯五月購之/前部十四冊」等と墨書。第11冊を除き題簽剥落により外題欠。但し剥がれた題簽の一部は残存。虫損激し。序題・目録題「武経直解」。[174]
- 167 **岳忠武王集** 単恂録 大 刊本 袋綴 1冊 虫損 *巻一・二1冊のみ存。戊申陽月初七日晩翠野人序、崇禎十一年(1638)単恂自序。巻尾に「原迫 平部朝致」と墨書。朱点あり。題簽剥落により外題欠。書名は巻首題による。虫損激し。[133]
- 168 **正統文章軌範独学講義** 森昌作編輯 中 刊本 袋綴 1冊 破・シミ・虫損 *巻之一1冊のみ存。明治25年(1892)編者例言。表紙汚損により外題欠。書名は巻首題による。[171]
- 169 **増評正文章軌範評林** [明治新刊] 謝枋得批選、李廷機評訓、草場廉校閲、關徳(子順)評纂 大 刊本 袋綴 2冊 虫損 「平部図書之印」印(巻首) *巻三・四、巻五~七の2冊存。柱刻に「同盟社蔵梓」とあり。題簽剥落により外題欠。書名は巻首題による。虫損激し。[172]
- 170 **増評続文章軌範評林** [明治新刊] 鄒守益批選、李廷機評註、草場廉校閲、關徳(子順)評纂 大 刊本 袋綴 3冊 明治17年(1884)刻成 大坂/前川善兵衛・前川宗七・中尾新助・吉岡平助 虫損 *巻一・二、巻三・四、巻五~七の7巻3冊揃。柱刻に「同盟社蔵梓」とあり。題簽剥落により外題欠。書名は巻首題による。虫損激し。[173]
- 171 **唐宋八家文読本** [點註] 沈徳潜評點、川上廣樹纂評 半 刊本 袋綴 15冊 明治15年(1882)再刻か 虫損 「平部文庫」印(巻首) *30巻16冊のうち第1冊(巻一)欠。巻二・三、巻四・五、巻六、巻七・八、巻九・十、巻十一・十二、巻十三・十四、巻十五・十六、巻十七・十八、巻十九・二十、巻二十一・二十二、巻二十三・二十四、巻二十五・二十六、巻二十七・

二十八、卷二十九・三十の15冊。刊記面虫損のため判読困難。全体に虫損激し。[175]

(16) 郷土資料

A 神道・神社関係

- 172 **神社由緒調書** [飢肥清武] 大 写本 袋綴・仮綴 1冊 虫損 * 鶯殿神社(「殿」を「戸」に訂正)、伊勢大神宮・春日大明神等の由緒を記す。虫損激し。[185]
- 173 **岩崎稻荷神社調書** 大 写本 袋綴・仮綴 1冊 疲・破 * 表紙に「青木肇」と墨書。[158]
- 174 **稻荷神社宝物古器物古文書目録** 大 写本 袋綴・仮綴 1冊 明治23年(1890)作成 虫損 * 宮崎県南那珂郡吾田大字星倉小字新山稻荷神社祠掌平部俊英、代理荒武寛と氏子総代金丸準蔵・日高勇・清茂七が明治23年(1890)5月に調査して村長高橋一郎から宮崎県知事岩山敬義に提出された文章。刀一本、脇差一本、短刀一本、棟札二枚を載せる。[184]
- 175 **春日神社由緒調書** 田中多太一 大 写本 袋綴・仮綴 1冊 虫損 * 日向国那珂郡板敷村鎮坐の春日神社に関する由緒由来を記した文書。成立年不明。[186]
- 176 **春日神社由緒調書** 田中多太一 大 写本 袋綴・仮綴 1冊 虫損 * 日向国那珂郡板敷村鎮坐の春日神社に関する由緒由来を記した文書。成立年不明。[187]
- 177 **鶯戸山玄深記** [別当隆岳] 大 写本 袋綴 1冊 慶応3年(1867)写 法進写 虫損 * 「鶯戸山玄深記」(隆岳記)、「神道旧時鏡」、「天神地神之称」、「日向土産巻上」、「日向鶯戸山古籍并吹毛井浦」等から成る。巻尾に「慶応三(1867)戊辰年二月吉立/別当観空/弟子法進書写之(「鈴木印)」と奥書あり。前後表紙欠。[156]
- 178 **都農神社纂記** 永友宗年著述 大 刊本 袋綴 1冊 明治31年(1898)発行 都農神社々務所 虫損 * 和装活字本。明治31年(1898)永友宗年例言。題簽剥落により外題欠。書名は巻首題による。[154]
- 179 **鹿児島県大隈国肝属郡高山村大字新富鎮座郷社豊受神社社司ノ家系略写** 大 写本 袋綴・仮綴 1冊 虫損・破 * 朱筆書入あり。[159]
- 180 **戸数等届書** 大 写本 袋綴・仮綴 1冊 虫損 * 榎原神社(氏子百九十戸、祠官伊東朽索)以下、大窪神社、塚田神社、萩之嶺神社等の氏子数を列記した文章。虫損・傷み激し。[192]

B 歴史・記録関係

- 181 **神通記** 大 写本 袋綴 1冊 虫損 * 後見返に「平部氏」と墨書。外題欠。書名は巻首題による。[155]
- 182 **日向纂記** 平部嶺南編 半 刊本 袋綴 8冊 明治18年(1885)出版 宮崎県/荒武純太郎・高橋宇太郎・高山眞平・壹岐宗淳、小村良輔 良 「平部図書之印」印(前見返) * 和装活字本。目録、巻一～三、巻四～六、巻七～九、巻十～十二、巻十三～十五、巻十六～巻十八、巻十九～巻二十・附録の8冊揃。慶応3年(1867)平部嶺南自序。明治18年(1885)小邨良輔跋。最終刊末尾に「正誤」を付す。[150]
- 183 **掌政録** 大 写本 袋綴・仮綴 1冊 安政4年(1857)写 山田氏写 少虫 「平部図書之

印] 印 (巻首) * 後見返に「安政四 (1857) 丁巳年夏荒武氏ヨリ借写 / 山田氏」と奥書あり。表紙に「平部直」と墨書。[157]

184 **榎原村是** [宮崎県南那珂郡] 半 刊本 袋綴 1冊 明治43年 (1910) 並 * 和装活字本。明治43年 (1910) 榎原村調査委員緒言。後見返に「印刷所 松野活版所」とあり。[151]

185 **征清死者列伝** [日向出身] 氷肌玉骨生編 大 刊本 袋綴 1冊 宮崎県 / 宮崎県神職取締所 虫損 * 和装活字本。明治31年 (1898) 宮崎県神職取締所緒言。題簽剥離別添。[152]

186 **征清死者列伝** [日向出身] 大 刊本 袋綴 1冊 宮崎県 / 宮崎県神職取締所 虫損 * 和装活字本。明治31年 (1898) 宮崎県神職取締所緒言。後表紙に「宮崎縣南那珂郡 / 榎原神社 / 平部正人」と墨書。題簽剥落により外題欠。書名は巻首題による。[153]

C 芸能・神楽関係

187 **御神楽番立帳** 大 写本 袋綴・仮綴 1冊 虫損・破 * 表紙に「天保三 (1832) 辰十月廿一日」とあり。「第一番鬼神」、「第二番神霊」、「第三番宝剣舞」、「第四番魅魍」、「第五番繰卸地舞」～「第十五番御竈木地舞」の演者名を記す。虫損・傷み激し。[191]

188 **八番星柴問答** 大 写本 袋綴・仮綴 1冊 虫損・疲 * 銀鏡神楽に関する問答形式の伝書か。虫損・傷み激し。[136]

189 **十四番地割問答** 大 写本 袋綴・仮綴 1冊 虫損・疲・破 * 銀鏡神楽に関する問答形式の伝書か。虫損・傷み激し。[137]

190 **神道地割問答** [唯一] 大 写本 袋綴・仮綴 1冊 享保12年 (1727) 写 平部俊宣写 虫損・シミ・破 * 巻尾に「享保十二丁未 (1727) 年正月吉曜 / 平部氏藤原俊宣」と奥書あり。巻首題「地割問答 (ヂワリモンダウ)」。[021]

【付記】日南市立小村記念館等学芸員の長友禎治氏には、蔵書の閲覧調査に際してさまざま便宜をはかっていただき、榎原神社ならびに平部家に関して多くの御教示を賜りました。厚く御礼申し上げます。また、書誌情報の入力にあたっては、広島大学大学院文学研究科博士課程後期の北原沙友里氏の協力を得ました。北原氏には、データの整理から原稿の作成に至るまで終始献身的な助力をいただきました。併せて深く感謝いたします。

〔書名索引〕

※目録上の書名を現代仮名遣いによる五十音順に配列した。

※書名の読みは、最も一般的と思われる読みに従った。

※書名に冠された角書は省略した。

※所在は、本目録において書名の頭に付した通し番号で示した。

※同一書名の場合は、通し番号順に配列した。

あ	か		
愛知大道新誌 第十八号	012	岳忠武王集	167
		鹿児島県大隈国肝属郡高山村大字新富鎮座郷	
		社豊受神社社司ノ家系略写	179
い		華実年浪草三余抄	067
伊勢物語	046	春日神社昇格記念献詠集	066
〔逸名写本〕	085	春日神社由緒調書	175
〔逸名断簡〕	013	春日神社由緒調書	176
〔逸名和歌集〕	014	神代正語常磐草	031
稲荷神社宝物古器物古文書目録	174		
岩崎稲荷神社調書	173		
印度蔵志略	097	き	
		求古美術模様 初編	145
		京の水	098
う		近古史談	086
鵜戸山玄深記	177		
雲上明覧大全	113	く	
		公事根源	114
え		群書一覽	001
永代大雑書三世相	116		
易学階梯附言	157	け	
易経 改點	156	経済説略	115
延喜式	106	源氏物語講義	047
		源平盛衰記	048
お			
大祓詞後积	002	こ	
大祓詞後积	003	皇朝戦略編	155
大祓太祝詞考	004	高等小学読本	128
女いましめの和哥	122	高等小学読本卷之五	129
女四書芸文図会	124	広日本文典	041

	せ			と	
征清死者列伝		185	東照宮		092
征清死者列伝		186	頭書古今和歌集遠鏡		057
正統文章軌範独学講義		168	唐宋八家文読本		171
清湾茶会図録		149	童蒙入学門		010
赤県太古伝		096	読史余感		063
Seven Britttish Classics		051	読史余論		089
先代旧事本紀		076	土佐日記俚言解 再版		049
	そ			な	
葬事略記		020	梨のかたえ		064
増評正文章軌範評林		169	南木誌		095
増評続文章軌範評林		170			
	た			に	
大勢三転考		083	日本紀標註		081
宅神祭儀		019	日本書紀 再刻		080
霊能真柱		008	日本文学史		045
霊能真柱		009			
玉鉾物語		006	祝詞うひまなび		027
			祝詞考		023
			祝詞考		024
			祝詞正訓		025
			祝詞略解		026
	ち			の	
中学漢文読本		136			
中学国語読本		131			
中学修身書		143			
中学読本		137			
中等漢文教科書		138	八番星柴問答		188
中等漢文読本		139	はふりのゝりかみつまき		022
中等国文		133	範圍図説		151
	つ			は	
都農神社纂記		178	秘書		153
			日向纂記		182
			標註漢文教科書		140
			標註職原抄校本		111
			評注令義解校本		104
	て			ひ	
庭訓往来		125			

	ふ		ら	
武学拾粹		154	礼記 改點	159
武家史 江戸時代		084		
	ほ		り	
保建大記		090	理科読本 第二	144
保建大記打聞		091		
法のしをり		108	類聚三代格	105
法のしをり 職掌部		109	類題和歌集	058
法曹至要鈔		107	類題和歌補闕	059
	ま		れ	
満洲写真帖		100	怜野集	060
万葉集古義		053	歴朝詔詞解	102
万葉集略解		054		
	み		ろ	
御神楽番立帳		187	論語抄	142
水茎の岡の葛葉		050	倫敦タイムス社寄書	052
南満洲写真大観		099		
みはてぬ夢		065	和漢年契	068
宮比神御伝記		007	和名類聚抄	043
御山のしをり		036		
民権講義略解		120		
	め		わ	
明治玉篇大全		044		
明治考節録		094		
	も			
蒙求鈔		141		
孟子		161		
	よ			
洋教弁略		037		
洋教弁略		038		
榎原村是		184		